



■ツキノワグマとは…

ツキノワグマは本来、臆病な動物で、人に見つからないように隠れて生息しています。エサの多くは植物質ですが、動物の死体やハチ、アリなどの昆虫類も食べます。人を攻撃してしまうのは、突然、人と出会ったため驚いた場合や、母グマが子グマを守るために行った威嚇の結果である場合がほとんどであると言われています。行動範囲は、1年を通して約50kmと広く、季節ごとにエサのある地域を求めて移動するため、ナワバリは無いと考えられます。また、行動は日の入りと日の出の時間帯に活発になり、夜間は行動が大胆になります。

クマ出没にご注意を!

秋から冬眠前にかけてツキノワグマの活動が活発化します。岐阜県のほぼ全域に生息し、本来は穏やかな動物であるツキノワグマの生態について理解を深めるとともに、遭遇しない方法、万一遭遇した場合に襲われない方法を確認し、未然に事故を防ぎましょう。

■遭遇しないようにするために…

1 登山やキャンプ、きのこ狩り等の際は、鈴やラジオなど、音が出るものを携帯し、自分たち人間の存在をアピールしてください。

2 人里に出没させないため、エサとなる柿や栗などの取り残し、収穫予定のない果樹は早めに処分してください。

3 家の周りや農地に、生ごみや野菜等、エサとなるものを放置しないようにしてください。

4 果樹園、養魚場、養蜂箱等には電気柵等を設置し、クマを寄せ付けないようにしてください。



■クマと遭遇したら…

1 子グマを見たら、近くに母グマがいる可能性がありますので、物音を立てないように静かに立ち去りましょう。

2 クマの移動する方向を確認し、立ち去ったのを見届けてから、反対方向に静かに移動しましょう。

3 クマから目を離さず、急に動かさず、しゃがまず、走らず、背中を見せずに後退しましょう。
※背中を見せて逃げるとクマは追ってくる場合があります。

◎クマを目撃した場合は、左記、担当課までご連絡ください。

担当・総務部総務課

☎ 67・18332

農林水産部林務課

☎ 67・2121

または各振興事務所振興課